

社会 1		東京書籍株式会社（2東書）
特に優れている点	1 大阪市 施策	○【基礎】本文の量が発達段階に応じたものであり、用語解説があり、知識・技能を習得しやすい。 ○【基礎】「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」の問題解決の流れで学習に取り組める。 ○【基礎】各学年に「まなび方コーナー」を設け、「見る・聞く・ふれる」体験的な学習や「読み取る」「表す・伝える」などの作業的な学習を具体的に提示している。 ○【言語】各単元の「まとめる」「ひろげる」場面では、話し合う活動や、グループで調べたことを交流する活動、また、ポスター・かるたづくり・年表づくりなど多様な言語活動を取り入れている。 ○【伝統】郷土に古くから残るものとして、建物、祭り、芸能などを大きく取り上げており、歴史マップやかるたをつくる活動など紹介している。（3・4年上 P112～P123） ○【防災】東日本大震災を事例に、防災や安全について取り上げ、自分たちのできることを考える場が設定されている。（5年下 P128～P137） ○【職業】さまざまな職業に従事する人々の様子を取り上げ、よりよい職業観・勤労観を高めようとしている。（3・4年上, 5年） ○【施設】博物館の見学の方法が説明されている。（6年上 P6～P7）
	2 その他	○単元ごとにまとめを書き込めるようになっており、学習したことを振り返りやすい。 ○大単元の導入時に、学習問題について話し合い、学習計画を立てる時間が設けられている。単元の終末においては、内容をふり返る場、表現する場があり、それらをもとに話し合いができるようになっている。 ○中単元の内容に必ず「自分たちの地域はどうだろう」「自分たちとのつながりは？」と問うことで、子どもに地域社会の一員としての自覚をもたせるようにしている。 ○見学や地域の取組みについて、インタビューが必要な場面で「〇〇さんの話」がのっているので様子や思いについて考えやすい。（3・4年上） ○子ども目線での考えが吹き出しに書かれ、主体的に考える力を育てやすい。
	3 外的 要素	○同系色を使っていないので、見やすい。 ○写真だけではわからない、細かいところを挿絵で提示しているため、理解する手助けとなっている。
	4 構成 配列	○見開き 2 ページで 1 時間の授業構成をしている。 ○地域の様々な取組みについて書いてあるので、様々な立場で考えやすい。 ○具体的な事例の前に、単元の概観がつかめる構成になっている。
	5 資料	○図や挿絵などの資料が大きく、見やすい。 ○資料が複数ある場合は、見開きごとの通し番号を付けるなど他の資料と比較しやすいように工夫している。 ○絵、写真、グラフなどの資料が豊富で、子どもの興味・関心を高めることができる。 ○各単元で、内容に関連した地図が掲載されているなど、資料が豊富である。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	○【基礎】子どもの意識の流れをふまえずに、内容を羅列した単元構成が見られる。
	2 その他	
	3 外的 要素	○キャラクター（ドラえもん）は必要がない。 ○資料が多いので、字が小さくなる箇所が多い。
	4 構成 配列	○単元によっては、学習展開が長く、子どもの学習意欲を持続しにくい配列になっていないところがある。
	5 資料	○大阪を取り上げた資料が少ない。 ○資料が多いので、1 つ 1 つの資料が小さく、見づらい。また、時間内にすべて扱うことが難しい単元がある。

社会 2		教育出版（17教出）
特に優れている点	1 大阪市 施策	○【基礎】「まなびのてびき」に学習場面における活動方法や手順が例示され、基礎的な知識や技能を身に付け、学習の見通しができるように工夫がされている。 ○【基礎】キーワードがまとめられており、基礎・基本の知識が身に付きやすい。 ○【防災】地震、津波、台風、大雪など、防災関連の資料が豊富にあり、写真や資料がわかりやすい。（5年下P40～P47） ○【職業】働いている人の話を多く掲載するなど、職業観、勤労観の育成に役立つ。 ○【言語】単元の構成は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「深める」となり、単元末の「まとめる」「深める」では、学んだことを伝えたり、話し合ったりする言語活動が提示されている。 ○【施設】郷土資料館での活動が取り上げられている。（3・4年上P108～P109）
	2 その他	○単元のまとめでは、キーワードを使ってまとめる活動があるため、学習内容をふりかえりやすい。 ○グラフなどの資料に記号がついており、資料を見て考えるのが苦手な子どもにもわかりやすい。 ○大単元の初めに学習問題をつくる時間が設定されており、見通しを持って学習しやすい。また、「もっと知りたい」コーナーがあり、発展的な学習にも取り組める。 ○「やってみよう」で実際に書き込んで図表やグラフの読み取りや書き方など体験的、作業的な学習が取り入れてあり、興味を持って取り組むことができる。 ○歴史年表の活用の仕方が詳しくわかりやすい。また、歴史的事象が地図で確認でき、いつでも活用できる。（6年上P149, P152） ○各中単元それぞれに社会見学などの体験的な活動の例を取り上げ、問題解決的な学習が行われるようにしている。 ○領土をめぐる課題にかかわって、竹島や尖閣諸島の情勢について詳しく取り上げられている。（5年上P12）
	3 外的 要素	○本文の量は、児童の発達段階に応じたもので、わかりやすい表現で記述されている。 ○色使いに工夫があり、挿絵や写真などの資料が大きく見やすい。
	4 構成 配列	○小単元の学習が見開きでまとめられており、活用しやすい。
	5 資料	○挿絵や写真などの資料が大きく見やすい。 ○写真などの資料に記号（ア、イなど）が付いており、全員で確認する際に使いやすい。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	○【言語】学習をまとめる段階での言語活動の例示の種類が少ない。 ○【規範】「ごみのしまつ」や「警察の仕事」の学習で、「法やきまりを守ることの大切さ」についての記述が少ない。（3・4年下P18, P43） ○【伝統】郷土に古くから残るもの（祭り、年中行事など）の取り上げが小さい。（3・4年上P100～P105）
	2 その他	○「キーワード」が言葉を示すだけで解説がなく、理解しにくい。 ○見学の方法や、見学で何を聞けばよいのかなどの記述が少ない。
	3 外的 要素	○グラフの背景色と本文が同系色であるため、読みづらい。 ○余白部分の多いページがある。
	4 構成 配列	○学習の見通しを立てたり振り返ったりするための配慮が乏しい。
	5 資料	○発達段階から見て、読み取りが難しいグラフがある。 ○資料が大きい反面、本文の情報量が少ないページが目立つ。 ○大阪を取り上げた資料が少ない。

社会 3		光村図書出版株式会社（38光村）
特に優れている点	1 大阪市 施策	○【言語】各単元の「まとめるひろげる」のページで、言語活動充実のために、話し合いにつながる子どもの発言例をあげ、意見交流による学習の深まりをねらっている。 ○【基礎】「ホップ・ステップ・ジャンプ」という構成が主体的な学習につながりやすい。
	2 その他	○1冊にまとめられているので、1年間の見通しをもちやすい。 ○各単元の冒頭に大きく学習問題が書いてあるので、学習の見通しを立てやすい。また、単元の導入が資料や写真で構成され、単元全体の見通しが持てるようになっている。 ○巻頭の「たいせつ」で示された部分では、作業的、体験的活動の方法が提示されている。 ○地図や新聞、すごろくなどの活動の例が多く紹介されて、取り組みやすい。 ○日本の領土や国境をめぐる課題について、5年上「国土とくらし」の学習だけでなく、6年上歴史学習の終末にも「日本がこれから果たすべき役割」として取り上げられている。（6年P143）
	3 外的 要素	○文字の大きさやフォントを用途ごとに变えて見やすくなるように工夫している。 ○資料を、ページや文の上や右に配置し、ユニバーサルデザインを取り入れた色使いに配慮が見られる。 ○本文の量は、児童の発達段階に応じたものでわかりやすい表現で記述されている。
	4 構成 配列	○子どもの活動が絵によって表わされているので、学習のイメージがもちやすい。 ○シンプルで、基本的な知識が習得しやすい内容である。 ○文書の行間が広く、読みやすい。
	5 資料	○取り上げる事例地の位置が日本地図や世界地図で示されている。 ○単元の導入部分など、イラスト資料が多く、子どもにとってわかりやすい。 ○写真が大きく、わかりやすい。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策	○【防災】東日本大震災の事例を取り上げているが、内容は薄い。（5年P216～P225） ○【伝統】郷土に古くから残るもの（伝統行事など）をあまり大きく取り上げていない。（3・4年上P100～P107） ○【規範】「ごみのしまつ」や「警察の仕事」の学習で、「法やきまりを守ることの大切さ」についての記述が少ない。（3・4年下） ○【施設】博物館や郷土資料館の施設の利用方法が具体的に示されていない。（3・4年上P86～P107）
	2 その他	○会話文が多く、本文が少ないため、要点をとらえにくい。
	3 外的 要素	○上下巻が1冊になっているため、児童にとって重く、かさばる。 ○写真や挿絵が多く、文書が少ないため、資料として扱いにくい。 ○製本や紙質が、手になじみにくい。 ○余白部分が大きすぎる。 ○文字の大きさが全体的に小さい。 ○表紙の絵や本文中の挿絵に興味をわきにくい。
	4 構成 配列	○本文の情報量が少なく、知識・技能を高めるための構成としては不十分である。
	5 資料	○大阪を取り上げた資料が少ない。 ○写真やグラフなどの資料が少ない。また色づかいが鮮やかでなく、見づらい。 ○資料が、最新のものが使われていないものが多い。 ○地図記号の記載が少ない。

社会 4		日本文教出版株式会社（116日文）	
特に優れている点	1 大阪市 施策	○【基礎】近畿地方の事例が多く取り上げられている。特に5年では、大阪市と旭川市・那覇市の気候を比較した資料が掲載されているほか、府内では堺市、岸和田市、東大阪市、高槻市、阪神工業地帯、また、府外では奈良市、栗東市、和歌山市、鈴鹿市など、大阪近辺の身近な地域が多く取り上げられ、子どもにとって関心を高めやすい。 ○【基礎】用語についてはゴシック体で表記されるなど、基礎的・基本的な知識が確実に習得されるように配慮されている。 ○【基礎】子どもの意識の流れに沿い、問題解決が連続する内容になっており、探究する力を育てる構成になっている。 ○【基礎】単元の構成では、学習問題の「わたしの問題」からはじまり、「わたしの見方・考え方」へと展開し、「みんなで話し合い、振り返ってみよう」と考える活動へと移り、そして「大きくジャンプ」と問題解決の実践化から発展的な取り組みまでの配慮がされている。 ○【基礎】「ふりかえりシート」、47都道府県のぬり絵マップ（3・4年上巻末）など、基礎基本の定着を図る教材が用意されている。 ○【規範】「ごみのしまつ」や「警察の仕事」の学習で、「法やきまりを守ることの大切さ」について強調されている。（3・4年下P36～P37,P87） ○【規範】日本国憲法における国民の権利・義務・基本的人権について4ページにわたり取り上げられている。「基本的人権の尊重のためには、自分の権利を主張するだけでなく、義務を果たし、他人の権利を尊重する態度が大切」と記述している。（6年下P26～P29） ○【職業】工場見学やインタビューが必要な単元では、働く人々の話が取り上げられ、工夫や願いが考えられるようにしており、職業観、勤労観を高めやすい。 ○【防災】阪神・淡路大震災や東日本大震災などの災害について取り上げ、国や町の取組み、自分たちにできることを考える場が設定されており、防災や安全に関する資料が充実している。（5年下P98～P115） ○【言語】新聞やポスターなどまとめたことをもとに話し合う活動や、学習したことをまとめる活動が示されているなど、言語活動が重視されている。 ○【施設】郷土資料館での活動や見学の方法が詳しく取り上げられている。（3・4年上P117～P118）	
	2 その他	○各単元ごとに学習問題が設定され、問題解決型の学習を進めやすく、見通しを立てたり学習をふり返ったりすることに取組みやすい。 ○「ふり返ってみよう」「大きくジャンプ」が各単元の最後にあり、発展的な学習に取組める。 ○「学び方・調べ方コーナー」では、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」などに分けて見学活動、マップづくり、パンフレット、焼き物づくり、お年寄りからの聞き取りなど体験的な活動が例示されている。また、主体的な活動を促すために、各単元で社会見学の例が示されている。 ○各ページの冒頭に学習問題が出され、いくつかのまとめごとに関した考えが出されているため、思考力を育てたり、ふりかえったりする学習内容で構成されている。 ○資料の読み取り方のコーナーが充実しており、どのような視点でグラフをみればよいか分かりやすい。 ○日本の領土や国境をめぐる課題について、5年上「国土とくらし」の学習だけでなく、6年上歴史学習の終末にも「学習資料」として取り上げられている。（6年上P163）	
	3 外的 要素	○社会科用語はゴシック体で書かれているため、ポイントがわかりやすい。 ○本文の量は、児童の発達段階に応じたものでわかりやすい表現で記述されている。 ○挿絵の子どもの発言による問題提起や気づきなど内容を理解しやすいように工夫されている。	
	4 構成 配列	○各小単元の最初に「わたしの問題」、最後に「みんなで話したいこと」「わたしの見方・考え方」を設定、内容の焦点化を図っている。 ○見開きで1小単元の構成になっており、活用しやすい。 ○単元最初の学習問題が適切であり、学習問題を解決していくことで一つの単元が終わるような子どもの意識流れに沿った教材配列になっている。 ○身近なところから学習する単元構成になっている。	
	5 資料	○資料は最新のものを用いており、挿絵や写真などが豊富で、興味をもたせやすい。 ○グラフの色遣いが見やすいだけでなく、網掛け・ドットの模様があるなど、読み取ったり比較したりできる工夫が施されている。（ユニバーサルデザイン） ○挿絵や写真、グラフなどの資料が鮮明で大きく、たくさんの情報が読み取れる。 ○資料を比較して提示されているところがあり、違いや特徴を読み取りやすい。 ○想像図の見方の例が示されおり、子どもがすぐに活用できる。（6年上P4～P5）	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市 施策		
	2 その他	○「ふり返りシート」にすでに書き込みがしてあり、使いにくい。	
	3 外的 要素	○資料や文字を詰め込みすぎていて、読みづらいところがある。	
	4 構成 配列		
	5 資料		